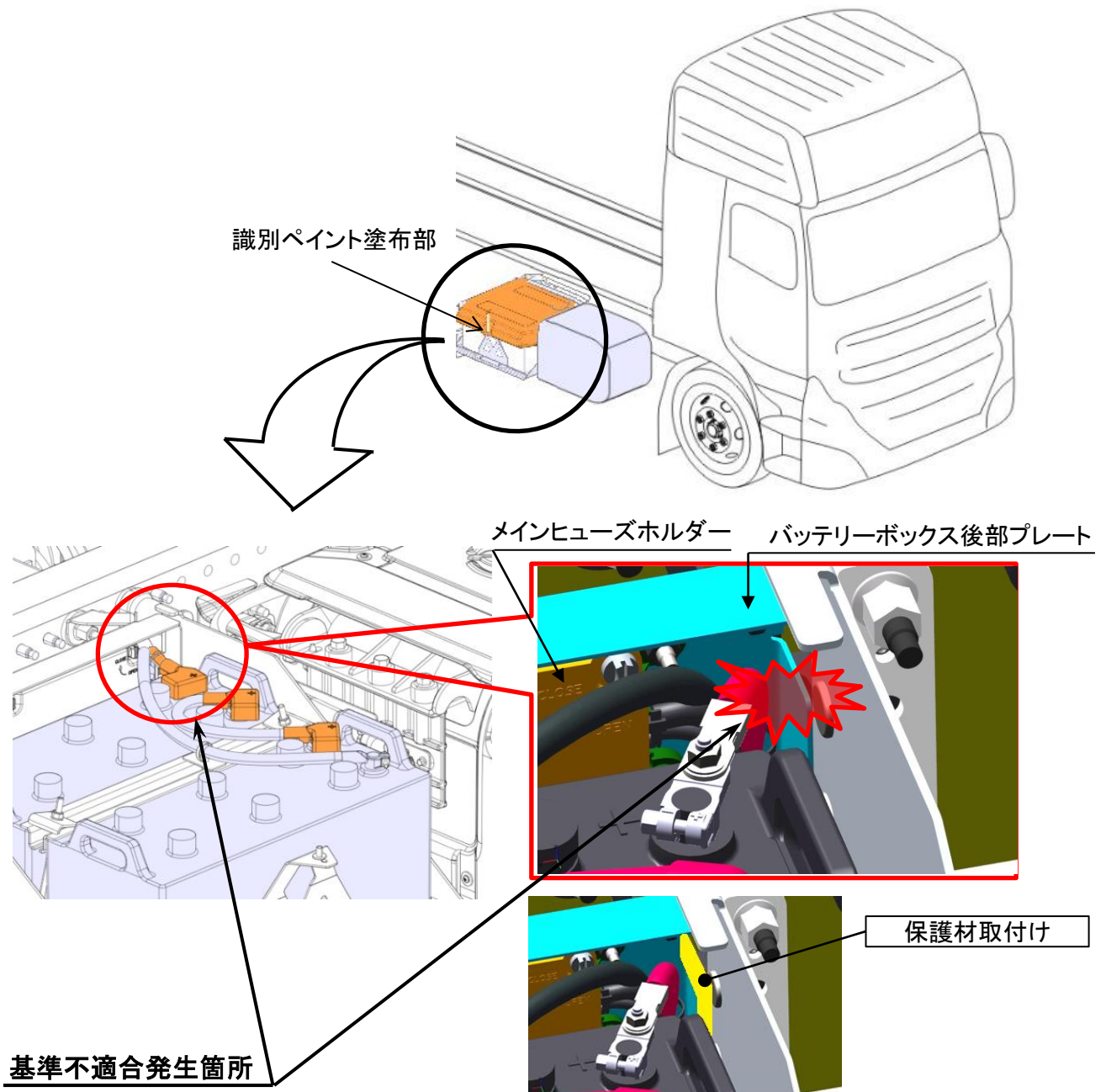


改善箇所説明図①



大型トラックにおいて、バッテリー固定プレートの形状が不適切なため、バッテリー端子に電源ケーブルを取り付けた際、電源ケーブルが固定プレートの端部と干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、電源ケーブルの被覆が損傷して短絡し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。

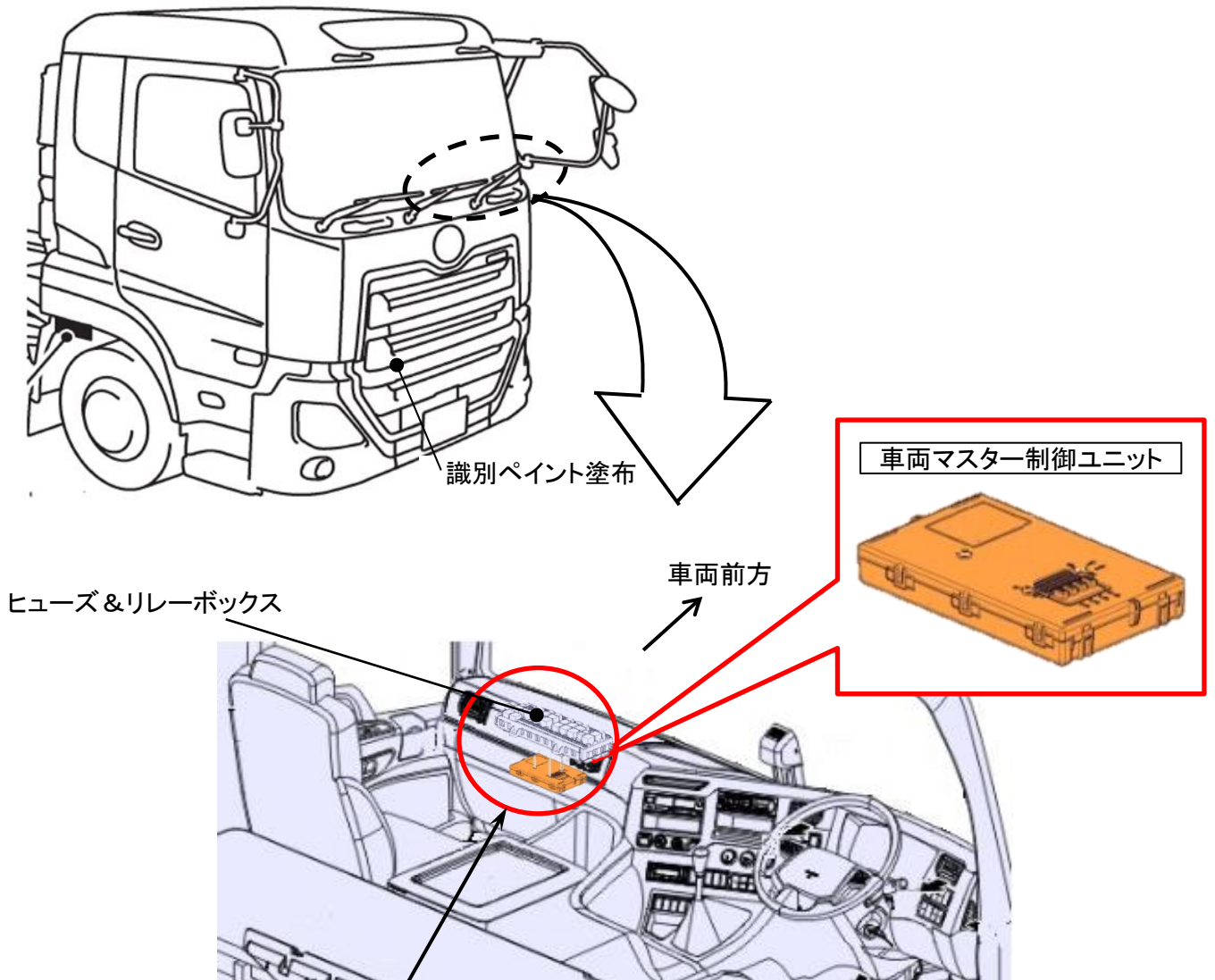
改善措置の内容

全車両、バッテリー固定用プレートの端部に保護材を取付ける。併せて、電源ケーブルを点検し、損傷がある場合は保護材の取付けまたは新品に交換する。

注： は、措置する箇所(取付け部品)を示す。

識別: 作業完了車には、バッテリーカバー固定ナットの表面に赤色ペイント塗布する。

改善箇所説明図②



基準不適合発生箇所

大型トラックにおいて、ワイパーの作動を制御する車両マスター制御ユニットのプログラムが不適切なため、ワイパー作動中に特定の操作を行うと、ワイパーの制御がフェイルセーフになることがある。そのため、ワイパーが一定時間停止し、必要な視野を確保することができなくなるおそれがある。

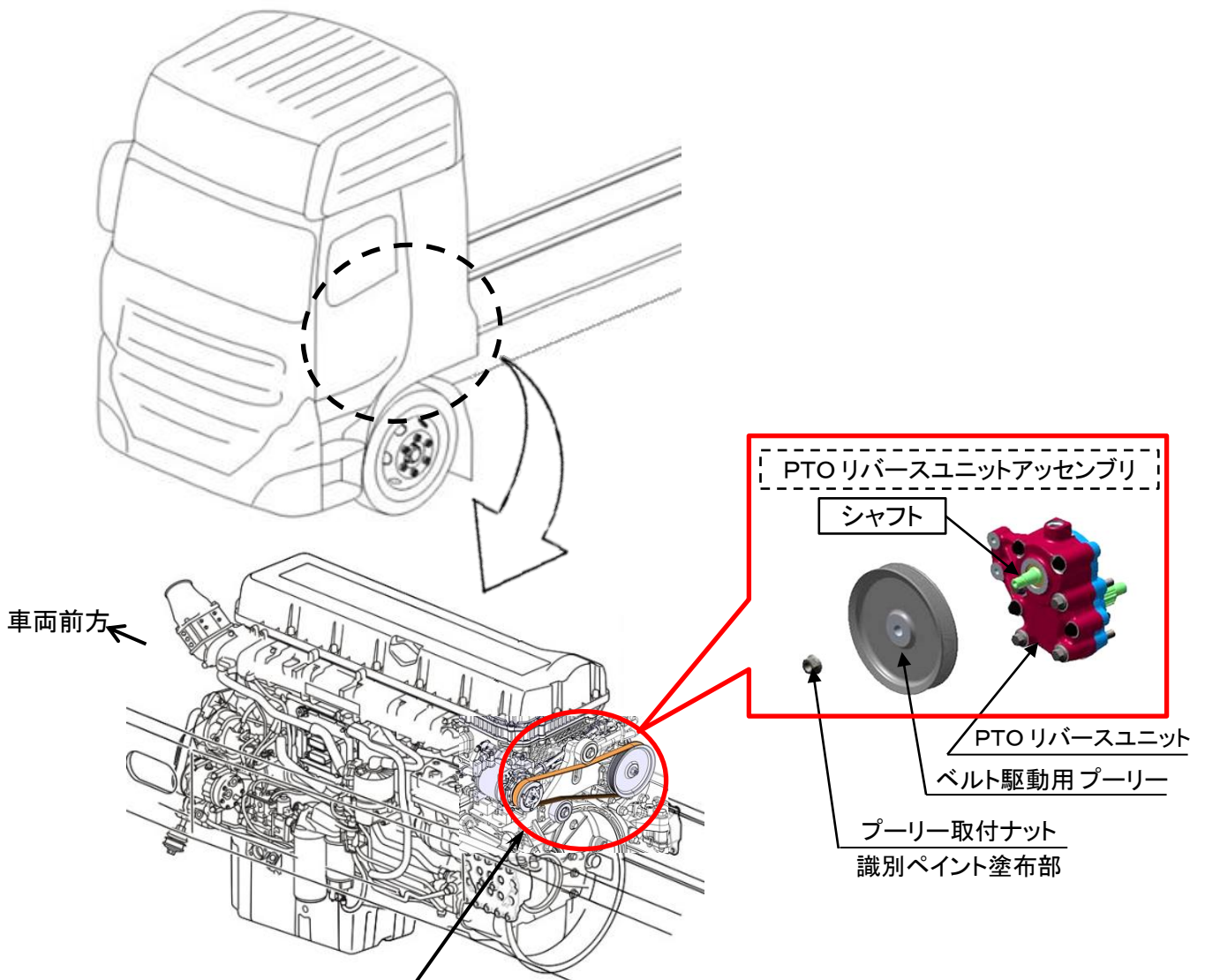
改善措置の内容

全車両、車両マスター制御ユニットのプログラムを書き換える。

注： は、措置する部品を示す。

識別: 作業完了車には、運転席側 キャブマウント部に赤色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図③



基準不適合発生箇所

大型トラックにおいて、駆動力取出し装置（PTO）の組付作業が不適切なため、シャフト部の表面に防錆対策用テープの接着成分が残ったまま、ベルト駆動用プーリーが組付けられたものがある。そのため、ベルト駆動用プーリーの取付ナットの締付け力が不足し、そのままの状態で使用を続けると、取付ナットが緩み異音が発生し、最悪の場合、駆動用プーリーが脱落して、他の交通の妨げになるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ベルト駆動用プーリー締結部の点検・清掃を行ない、取付ナットに緩みがある場合はPTOリバースユニット一式を新品に交換する。

注： は、措置する部品を示す。 は必要に応じ交換する部品を示す。
識別：作業完了車には、PTOプーリー取付ナット部に赤色ペイントを塗布する。